

那珂市議会教育厚生常任委員会記録

開催日時 令和5年10月20日（金）午前10時
開催場所 那珂市議会全員協議会室
出席委員 委員長 寺門 厚 副委員長 原田 陽子
委員 花島 進 委員 古川 洋一
委員 武藤 博光 委員 遠藤 実
欠席委員 なし

職務のため出席した者の職氏名

議長	萩谷 俊行	事務局長	会沢 義範
次長	秋山雄一郎	書記	田村 栄里

会議に付した事件

(1) 調査事項「子育て」について

…執行部に要望する内容の確認

開会（午前10時00分）

委員長 おはようございます。開会に先立ちまして、ちょっと私のほうから一言。今閉会中ではございますが、皆様には、諸活動お忙しいところ参集いただきましてありがとうございます。

小学校中学校でインフルエンザがはやっております、学年閉鎖が出ております。芳野小学校とか第三中学校の話ですけれども、ほかでもはやってるといふうな話は聞いておりますので、今年はこのインフルエンザの到来が早いということなので、ぜひインフルエンザ予防接種、早めに打っていただいて、日頃の活動に備えていただければなというふうに思います。

ご連絡いたします。本日は、換気のため廊下側のドアを開放して、常任委員会を行います。ご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。

会議は公開しており、傍聴可能とします。また、会議の映像を庁舎内のテレビに放送します。発言に際しましては、必ずマイクを使用してください。

携帯電話をお持ちの方は、必ず電源をお切りいただくか、マナーモードをお願いいたします。

ただいまの出席委員は6名でございます。欠席はございません。定足数に達しておりますので、これより教育厚生常任委員会を開会いたします。

職務のため、議長及び議会事務局職員が出席しております。

ここで議長よりご挨拶をお願いいたします。

議長 改めておはようございます。委員長からもお話ありましたけど、休会中の中、教育厚生常任委員会にご参集いただきまして誠にご苦労さまです。

今日の会議事件は、調査事項についてということですので、ご協議のほどよろしくお願いいたしまして、挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。
委員長 ありがとうございます。

本委員会の会議事件は別紙、会議次第のとおりであります。

これより議事に入ります。調査事項、子育てについてを議題といたします。

当委員会では子育てについて、子育て世代包括支援センターについて、執行部より説明を受け、市内施設見学、常陸太田市へ視察、議員と語ろう会でも、子育てをテーマに話を伺ってまいりました。

今回、報告書案を作成しております。事前に皆様にご確認をいただいているところではございますが、この内容を基に調査事項のまとめを行ってまいりたいと思います。

まず、今後のスケジュールをお話しますけれども、今回の委員会で調査事項のまとめを行い、要望書もしくは報告書を作成、その後全員協議会で報告という形になります。

まず、今回の調査事項子育てについては、まとめ方として要望書の形で提出というご意見がありました。

それでよろしかったでしょうか。

(なし)

委員長 よろしいということですね。

では、調査事項のまとめということで要望書という形をとりたいと思います。

続きまして、これまでの調査などを踏まえ、どういった点を要望していくのか、視察等の振り返りを含め、皆様よりご意見をお願いしたいと思います。サイドブックに皆様からいただいたご意見等々をまとめておりますのを表示してあります。

ご自由に何かございましたら。

視察については、那珂市内の施設、あるいは行政のほうの担当課、常陸太田市の施設2か所ですね。それと担当課のほうもお話を聞かせていただきました。

取組方にちょっと違いがあるなというのは、感じたところでもありますけれども、いかがでしょうか。

古川委員 報告書がこれでいいかって話じゃなくてどういう要望書にするかっていう話。

委員長 報告書には皆様方のご意見等々も要望も入っておりますので、この中からピックアップしてまとめていくという手もありますし、今日また新たなこういうことも入れておいた方がいいんじゃないのっていうのもいただければ。

古川委員 新たに何かあればそれを追加していただいてもいいと思いますが、取りあえずこの報告書で、それぞれの意見とか感想っていうところを見ると、何々を望むとか、何々すべきとかっていう、いわゆる要望の部分がありますので、これをちょっとうまくまとめていただいた要望書でよろしいんじゃないでしょうか。

あと今日、もし何か皆さんから追加があればあれでしょうけど。

委員長 分かりました。

花島委員 調査事項はこれで私いいと思うんですけど、あとは全員協議会で説明があった学童保育所。何ていうんだろう。いろんな言い方をするんで、学童クラブとか。民間委託という話があって、その理由の中に人材確保の話があったんですよね。何ていうかな、この子育て事業もそうなんですけど、福祉関係の人材確保っていうのをもっとね、真剣に考えなきゃいけない。そういうやっぱり処遇を上げるっていうことを真剣に考えなきゃいけないと思ってます。それを言ったほうがいいかなと思うんです。こういうふうにとすると、どこそこの仕事でどこそこだったら、幾らっていう枠組みがあるんですけど、そういう枠にとらわれてたら、いい施策はできないということも含めて入れたらなと思っています。

子育てについては取りあえず、調査事項としては、この内容で結構だと思います。

委員長 調査事項の要望についてはこの内容でということですが、学童保育ですよ。

広い意味で子育てには関することなんですけど、それに関わる人材が足りないよというその辺なんかも、要望をしておいたほうがいい。加えて処遇改善ということも、要望したほうがいいよねっていう話ですよ。分かりました。

ほかございませんか。

遠藤委員 実際、調査事項は子育てについてということだからかなり幅広でありますから、何をどこまで提案するかということだと思いますけど、その中で限られた任期時間の中で、正副委員長で調べていただいて、我々はこの子育て世代包括支援センターの話聞いて、また市内の施設はすまいとつぼみを見させていただいて、常陸太田市のほうも見させていただいたということの中での取りまとめだと思いますので、報告書は確かにこれでよろしいんだろうと思いますけど、要望書という取りまとめの仕方っていうのはちょっと確かにどういうふうにすればいいのかなというのはあります。

ただせっかく調査をしてきたことでありますから、この市内の二つのセンターにおいてはこういうふうなことでいいのかなと。なおかつ常陸太田市のほうは参考にすべきで、例えばいいところは、これはぜひ那珂市でもやっていただくといいんじゃないかみたいなものを取上げて要望に加えるとも加えるのもいいのかなと。

例えば常陸太田市のここキララなんかは、なかなかこれ那珂市で実現するかどうかは、まだいろんな配慮が必要でしょうけど、同一建物内で子供に関する施策を関連課がまとまってたんですよ。福祉、医療、教育。

これは確かに横の連携がとりやすいという、いわゆる施設的なハード的なものも含めると、実際行政の運営をするのはやっぱり人、職員でありますから、職員の方が動きやすいような動線も確保してやることも提案としてはいいのかなというふうに思います。

今後全員協議会の流れというか、あれを見ますと例えば、瓜連庁舎含めて、公共施設の在り方をどうするかっていうのが多分今後那珂市でも課題なんだろうと思いますので、

そういう建屋をどう使うかということの中に、この子供という部分で関係課を一つに集約するというようなところは、今後、我々議会としても行政のほうに提案をしてもいい内容なのかなというふうには感じています。

あとは視察で見た以外の部分の子育て施策をどこまで提案に入れ込むかというところはやっぱり議論の余地があるかなと思いますが、どうしても限られた時間の中で、何をどこまでどう入れるか、花島委員がおっしゃったように確かに学童保育のまさしくそういうことだろうと私もこの間の全員協議会での議論から感じましたので、そういったことも入れたほうがいいかなとは思いますが、何をどこまで入れるかになりますね。

そうすると幅広なもんですから、そこらのところをちょっと、今回はとにかくこの子育て世代包括支援センターの運営状況や、市内の施設2か所の中でいろいろ要望が出てきたものを取りまとめいただいて、また常陸太田市のほうではよかったものっていうのを那珂市でもこういったものをどうかといったものを取上げて加えて、それ以外のものをプラスアルファできるものがあれば、この中でまた今日議論して、追加できるものは追加していくという形での取りまとめ方でいいのかなというふうに思っています。

取りあえず、今のところ以上です。

委員長 ありがとうございます。

それぞれ視察したところ、那珂市の2か所ございますんで、一つは子育て世代包括支援センター、これ事業の総括のところですから、このところについてと、出先であります地域子育て支援センターつぼみ、あるいはこども発達相談センターすまいるについて、こうしたほうがいいよねっていうところを入れたほうがいいですよというお話ですよ。

加えて要望ですので、もう少し肉づけをしていくということだと思んですが。

もう一つは少子化対策についてもワンストップ化、常陸太田市のほうで見ますとされてますし、各課の連携が非常に強くて、皆さん危機意識を持って、何としてでも引っ張ってくるんだよねっていう取組の意識がありありっていうかひしひしと感じましたので、その辺も当市においてもやっぱり取り組んでいただければなというふうに思っておりますんで、その辺も加えたほうがいいのかなっていう気はしております。

副委員長、何かありますか。

副委員長 私のほうも、やはり今回調査事項として取りまとめたところをきちんと要望していくことが必要かなと思っております。

市内施設についてそれぞれ要望したとして、あとは常陸太田市のほうで、ここキララの件と、あとじょうづるはうすのこともちょっと当市のほうで参考にできる点がたくさんありましたし、議員と語ろう会でもその辺は市民の方から要望も出ていたので、その辺も含められたらと思っているところです。

委員長 ありがとうございます。

それでは、今まで出たお話を、我々正副委員長でまとめて、一応また皆さんにお返しして、それでさらに加えていただくところがあればそれに加えていただくという形でちょっとまとめたいと思うんですけども、それでよろしいでしょうかね。

遠藤委員 確かに今委員長お話しされたとおり、事業の数が多いんですよ。常陸太田市は。

いま一度常陸太田市の資料、今もう1回見てるんですけど、短期的な取組、短期的なものにはU I J ターンの促進であるとかね。長期的には出生数の増加、子育てに優しいまちをどうつくるかみたいなこと取組で、いろいろと移住定住相談室であるとかオンライン移住イベントの実施であるとか、移住コーディネートをしているであるとか、あと経済的な負担は、新婚家庭家賃助成、住宅取得促進助成、子育て世帯の増改築の助成であるとかですね、事業の数が多いんですよ。

那珂市の子育て施策は事業の数はそんなに多い感じがしないですね。これは見せ方の問題もやっぱりあると思っていて、実際その常陸太田市でちょっと聞いたのは、いろんな事業があるけど、それでどれぐらいの予算枠なんですかっていうのを聞いて、その消化率みたいのを聞いたんですが、余り答えは返ってこなかったんですけど。ただやっぱり子育てしやすいまちとかって言われてるのは見せ方がやっぱりあると思っていて、那珂市もそれだけやっぱり若い人にきちっと目が向いているよっていう、やっぱりこういう事業化することによって、しっかり見せていく、PRをしていくことも大事だろうというふうに感じますね。

そういった意味では、予算の枠は限られてはいますけども、事業の数をやっぱりもう少し増やしていただいてもいいのかなという感じはします。

追加で。以上です。

花島委員 私は全く反対の考えで、事業の数でどうこうじゃなくて、総合的にどういうふうサポートするか、何が足りないのか。そういうのをむしろしっかりして、その点をアピールしたほうがいいと思いますね。事業の数が増えると何ていうんですかね。名前のある事業で自分がどこでっていうのは簡単につかまるとは限らないし、そもそも総合的に例えば、常陸太田市では1か所に集中して受け付けられましたよね。

そういうことのほうがむしろ大事で、見せかけよりは総合的なやつでちゃんとやりますよというふうなのが僕はいいと思います。

個別にありますこれがありますっていうのは、何ていうんですかね。ちょっと那珂市がやることかなって。要するに個々の事業はいいですよ。だけどその名前をつけてアピールするかっていう話じゃなくて、総合的にしっかりサポートできますと。あるいは子育てしやすいですっていうふうに見てもらえるような何ていうかな、アピール。それもアピールの前に実がないと駄目ですよ。それを望みますね。

ちょっと遠藤委員の考え方とまるっきり私、違ってきます。

武藤委員 那珂市の保育事業とか一通り見て、ある程度満足できる範囲にはあるんだろうと思

うんですけども、やっぱり情報量、情報の発信力っていうのがちょっと薄いのかなというふうに思います。

例えば今のデマンドタクシーで、ひたちなか市の勝田地区の産婦人科とか小児科とか含めてそういうところに、市内に小児科の一つしかないし、産婦人科はゼロなんですけど、勝田辺りに行くデマンドの小児科とか産婦人科その辺りのところは、統合されてないと思うんですね。だからその辺りも含めて、那珂市は、子育てにとっても応援してますよっていうそのPR力と情報発信力っていうのをもうちょっと、ほかの今ちょっとデマンドタクシーやってるのは、この前変わって、ちょっと部署が変わったと思うんですけども、そういうとこと連携しながら。

(「都市計画課」と呼ぶ声あり)

武藤委員 都市計画課になったんだね。

そこと連携しながら、とても住みよく子育てしやすいですよっていうこの情報発信量を、分かりやすくしてもらいたいなっていうふうに僕は感じました。

以上です。

遠藤委員 ちょっと花島委員とは考え方違うんだらうというふうに思いますが、私の趣旨は、総合的には頑張るということだけど、じゃ、具体的には何をやってんの那珂市は。事業は何やってんのって言われたときにぱっと出てきますかって話なんです。

いや、これもやってますこれがあってもそれにやってるんで総合的に頑張るんですよということが大事だろうと言っているのであって、総合的に頑張るんだけど具体的なには何ですか。どういう事業があるんですかって言われたときに、ぱっと思いつきますかっていう話なんですよ。そういったものが多分少ないんだらうというふうに思いますので、それはきちっと出したほうがいいだらう。

さらには武藤委員おっしゃったようにPRをさらにするべきだらうということをおは申し上げた趣旨ですね。

花島委員 私が言いたいのは事業の形の数とかなんとかじゃなくて、総合的に子育てしやすいかどうかということですよ。もっとも子育てだけじゃなくて、生活しやすいかどうかはまず第一というわけですよ。

そこを総合的にできてるっていうのは、何ができてますかって言われたらそれもすぐ答えられるんですよ。デマンドタクシーがありますよとかね、こういう補助があります。

僕も例えば自分は子育てしてないから小さい子供を育てる方のこういうサービスがありますってぱっと言えませんが、担当課は言えますよね。市の職員で福祉関係の方はやっぱりそれは言える。これこれありますからって。

だからそれがすっと出てくればいいんで、事業名で名前の何々事業がありますこれがありますっていうのはそれほど大事じゃないと。

それは基本的に浸透すれば那珂市に住んでる方々は、自分は子育てしやすいなと感じ

るようになるし、そういうベースがあれば、外からの人も、那珂市は、子育てしやすいですねとかね、そういうふうに空気ができるというか思ってます。

だから、やっぱりちょっと遠藤委員と相容れないところがありますね。その辺の感覚。遠藤委員 議員間討議というかね、これが大事だと思うんです。僕は。

そういう意味では執行部もないんで、こういう機会がなかなかない。

例えば、僕は地域を回っててこういうことを言われたことがあるわけですよ。那珂市の五台なんだけど、息子夫婦に帰ってきてほしいと。うちの敷地も空けてるから。ただ待ってたんだけど常陸太田市のほうに、うち建てて住まわれちゃったというわけ。なんで待ってるのに、常陸太田市のほうに行っちゃったんだよって言ったら、おむつがただなんですよっていうふうに言われたと、おむつ助成してくれるんですよ常陸太田市は。それだけ子育てに優しいんですよ。だから、常陸太田市なんだよっていうふうに言われちゃったんだっていう声があるんですよ。

だからそれって、こういう事業がぼんぼんぼんと若い人には飛びつくようなものがやっぱりあったりすることが大事なんだろうと思うんですね。これやっぱり個別の事業なんです。その事業が魅力あるものが1個なのか2個なのか10個なのかということであって、僕は多いほうがいいと思う。

ただ予算枠もあるから、それは限られているからね。それは100個も200個無理だけでも、やっぱり今よりは僕は増やしたほうがいいと思うから、事業をやっぱりそれを増やして充実させたほうがいい。それを充実させていくことによって総合的に、花島委員がおっしゃる総合的に子育てがしやすいまちになるだろうという意味で僕は言ったんであって、そここのところを総合的にも、じゃ具体策は何ですかというのが僕は事業だと思うから申し上げたんです。

古川委員 先ほど武藤委員の意見も含めて、お三方の意見を僕はまとめるつもりはないんですけども、それぞれおっしゃっていることはごもっともだと思ってて、いずれにしても視察した那珂市のすまいる、つぼみ、それから常陸太田市のここキララとじょうづるはうす、じょうするはうすは、民間に委託されましたね。

そういうことも含めて、那珂市が子育て事業やってないかと言ったらやってるんですよ、たくさんやってるんですよ。

ただ僕、ここで子育て世代包括支援センターの運営状況について、まず執行部に確認しましたね。あのときに、那珂市独自の事業って何かあるんですかって聞いたら、答えられないのが答えですっていう答えが返ってきましたよね。だから、やってるんだけどやはり遠藤委員のように、これという自慢、自慢できるって言ったらちょっとあれかもしれないけど、そういうものが確かにないんじゃないかなっていう気もするんですね。

それと、あと今やってることをやってるんだけどそれがPRっていうかうまく市民に伝わっていないっていうそのPRの仕方も悪い。

それから運営の仕方も悪いと思うんですよ。

子育てのいろんな支援施設がいろんなところに分かれている、常陸太田市は一緒にワ
ンストップじゃないけど、そういうところがないから相談する人が窓口の皆さんから目
につくところで相談をしている。そういったものがきちんと個室が用意され、そういった
ところの環境が整ってない。

だからやってるんだけどそのやり方が僕はまずいと思うんですね。

それとPR。

そして、さらにこれといった、何か自慢できるような、おむつ一つでもいいですよ。
そういったものが、那珂市独自のものが無い。

その辺が僕は問題だと思うんで。その辺をうまくまとめられたらどうでしょうかと。
私は皆さんの答えをまとめるつもりないけど、僕はそう思ってます。

委員長 はい、ありがとうございます。

皆さんからの意見、まさにそのとおりだというふうに私も思います。

特に常陸太田市はいろんな都市計画から建築からそれこそ健康推進課から、こども課
から皆さん少子化対策で、これをやろうってそれぞれの持ち場ありますんで、やってる
事業はそれぞれ、独自のやつをやるんですけども、総合的に考えてるのは常陸太田市
に来てもらおうと、住んでもらって子育てしてもらおうと。魅力あるんですよっていう
ところをPRしながらやってるといふふうに思うんですよ。

だから那珂市にないのは、やっぱり子育てだと、子育て世代包括支援センターに行っ
て何々ありますかねっていう話になっちゃうと思うんでね。

そうじゃなくて例えば、健康推進課でも、建築課でいっても、住宅の問題も絡んでま
すし、総合的にやっぱりそれぞれの課が連携して、その相談者に分かりやすい説明をし
ていく分からないところはすぐつないでこうしてくださいねっていう。

PRを進めていけるっていうそういう体制が非常にいいなというふうに思いまして、
那珂市にないのはその辺かなと。やってることはやっていますんで、いろんな子育て世
代の人に聞くと、やっぱり普通だよ。やってないっていうことはないんだけど、やっ
ぱり特色がないよねって言われちゃって。

例えば、もう5人子供いらっしゃるご夫婦なんですけれども、5人目以上も産もうと
は思っていたらしいのですが、何もないし、もうやめたよという話をするんで、そうい
う極端な話かもしれませんが、やっぱりその辺、特徴がある施策が必要だなんて
いうふうに思いましたんで、それは私も要望したほうがいいのかというふうに思っ
ます。

今、出た話をちょっと、まとめてみて、お諮りいただくという形でどうですかね。

よろしいですか。

(なし)

委員長 では、今の調査事項についてはそういうふうにしてまとめていきますので、またご要望等についてお聞かせください。

花島委員 全然言わなかったことを思い出しまして、那珂市にしても常陸太田市にしても、要するに足がある人のための施設なんですよ。

若い人はだいたい生活保護なんてことは多分ないことが多くて、車持ってる人も多いから、利用できると思うんですけど、結局常陸太田市いいなと、施設行っていいなと思うけど、常陸太田市って広いですから。周辺の里美のすみっこからあそこまで出て行ってっていうのは、できる人とできない人がいるかなと思いました。

だからって何しようっていうわけじゃないんだけど、見かけの施設だけ見てね、あんまり喜んでられないなと思ってます。

常陸太田市みたいなところは、どうもある意味で周辺を見捨ててっていうのは言い過ぎですけど、中心のコアみたいな発想でやって、そこを住みやすくするっていう発想でやってると思うんですが、実際には、それって限界があるんですよ。これは私がいろんな場で言っているコンパクトシティという概念が、やりすぎたらばかばかしいっていうか、間違ってるという感覚と一緒になんですけど、その辺を将来考える必要があるかなと思います。いくら中央にいい施設があつてのびのびできると言っても、そこに往復する足とか時間がなかったら、使える人は限られてる。

そういうところを見捨てるわけにいかないんで、そのところのサービス。だから、あちこちにそういう施設つくるなんてことは、むしろコスト的に無理なんで、どういうふうにサポートできるかっていう、子育て施設についての。考えていく必要があるなと思いました。

この報告書に書けということじゃなくて、こういう検討課題っていうかなとして、今のうちに意見を言っておきたいと思って発言しました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。確かにそうですよね。

高齢者の方については足がない、デマンドタクシーどうしていいかという具体的にも方策も考えるようにはなってますけれども、実際に子育てについては、確かに足がない人にはちょっと難しいのかなっていうのはありますよね。

将来的にはやはり考えていく必要があろうかというふうに私も思いますので、今後それは、検討していったほうがいいなというふうに思います。

ほかよろしいですか。

(なし)

委員長 では、今回の子育ての調査事項については、具体的に市内はこども発達相談センターすまいる、それから地域子育て支援センターつぼみを見ましたので、常陸太田市については、ここキララ、子育て世代包括支援センターですね、あとはじょうづるはうす

とそれぞれ担当課のお話ということで、市内の二つの拠点に対してのものと、要望についてちょっと全体的な、那珂市の子供政策についての要望ということ求めてちょっと、皆さんにちょっとお諮りいたしますので、それを見ていただいて、また追加事項等々ありましたら、加えていただければというふうに思います。

ということでまとめますので、よろしくお願ひしたいと思います。

いつまでに、次の全協って来月、次回の全協、たしか11月20何日でしたね。

(「21ですね」と呼ぶ声あり)

委員長 21日ですね。ですから11月のところで間に合うように、その前ちょっと余裕を持って皆さんにまたお諮りしたいと思います。まとめて11月の全協のところで報告できるようにということで進めさせていただきます。

以上でよろしいですかね。

(なし)

委員長 それでは本日の案件は全て終了いたしました。以上で教育厚生常任委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。お疲れ様でした。

閉会(午前10時34分)

令和5年10月26日

那珂市議会 教育厚生常任委員会委員長 寺門 厚